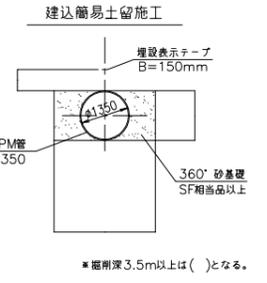


管種・管径	FRPMφ1350 (2層)		SPφ1350	SPφ1350	FRPMφ1350 (2層)	SPφ1350	FRPMφ1350 (2層)
土被り	2.16	2.12	2.21	2.21	2.33	2.33	1.78
勾配	$H=0.060m, L=318.353m$ $i=0.0001885 (1/5306)$		0.900	0.900	$H=0.020m, L=65.346m$ $i=0.000306 (1/3267)$	0.920	$H=0.630m, L=82.242m$ $i=0.007660 (1/131)$
管中心	0.875	0.885	0.894	0.900	0.905	0.920	0.514
地盤高	3.74	3.71	3.81	3.81	3.94	3.95	3.00
杭高	3.745	3.712	3.813	3.811	3.943	3.954	3.451
追加距離	13603.004	13653.004	13703.004	13719.104	13752.602	13803.005	13853.003
単距離	25.478	50.000	50.000	31.675	17.923	47.423	26.229
測点	NO.73	NO.74	NO.75	+16.10	IP.35'	NO.76'	IP.36'
曲線					IP.35' IA=90-14-11		IP.36' IA=90-21-52 IA=89-54-49

注意事項  
1. 地盤高( )内数字は、水路底の値を示す。

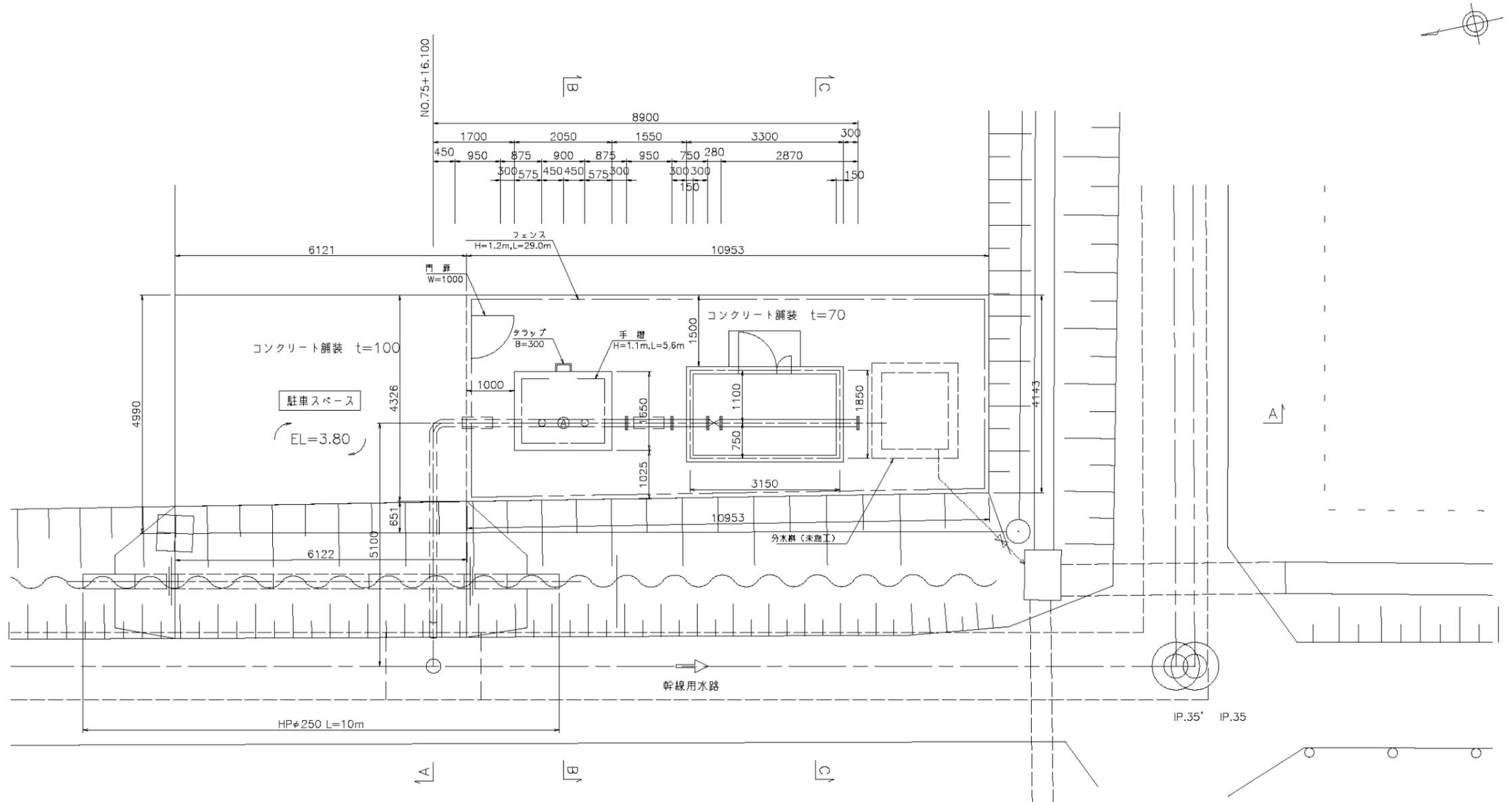
管路標準断面図  
S=1:100



施設名	東部幹線用水路(0312100-1100-03)
図面名	縦断平面図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	A1 H=1:500 A2 H=1:700 V=1:100 V=1:141 図面番号 6-51/106
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

# 大網東2分水工構造図(1/3)

平面図  
S=1:50

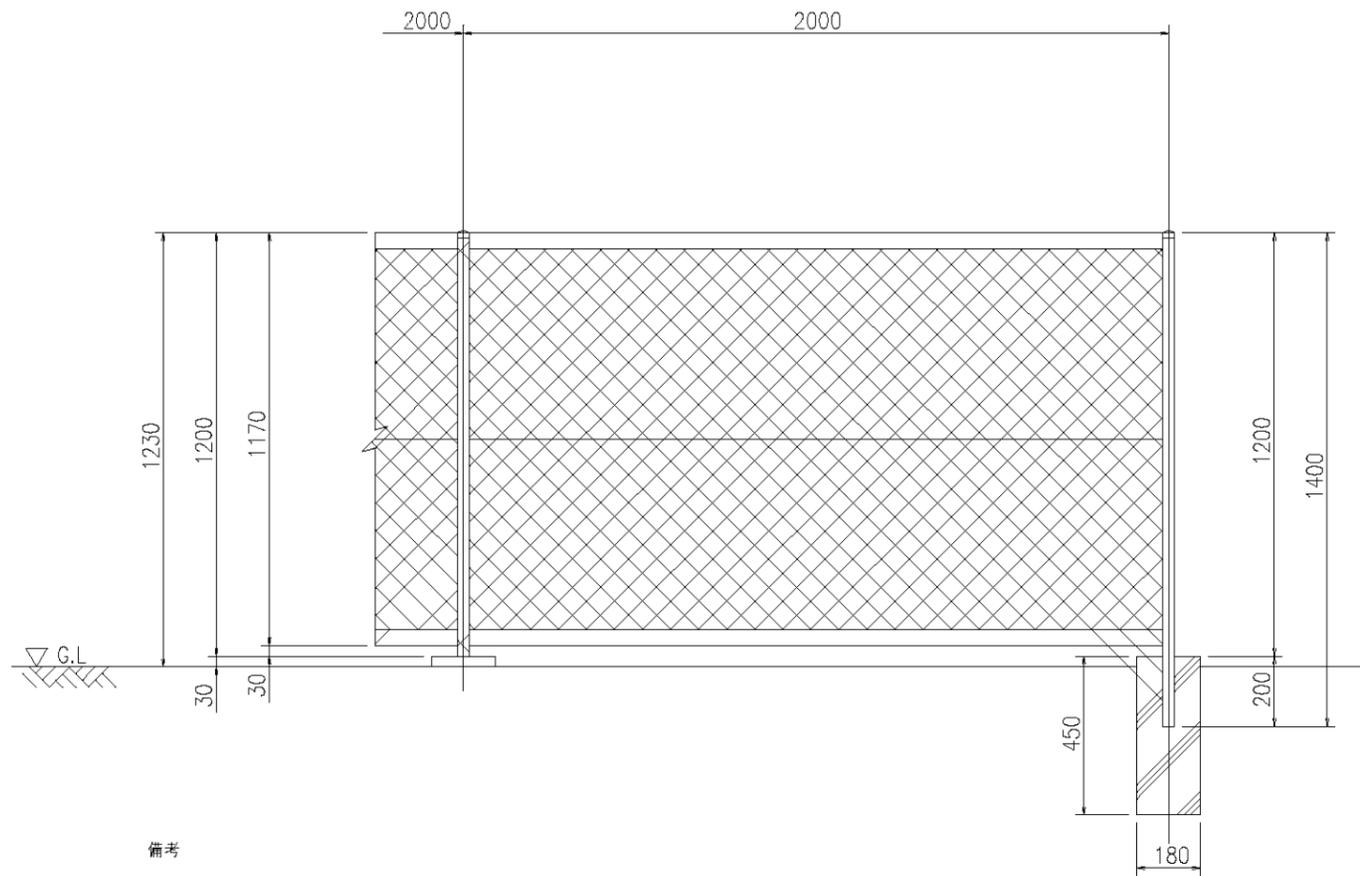


施設名	東部幹線用水路(0312100-1100-03)
図面名	大網東2分水工構造図(1/3)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示 図面番号 8-66/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所



# 大網東2分水工構造図(3/3)

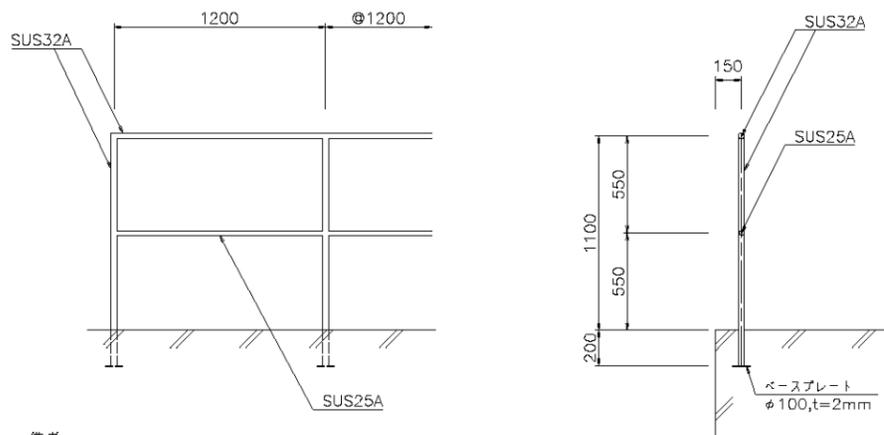
フェンス詳細図  
S=1:10



備考

1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。

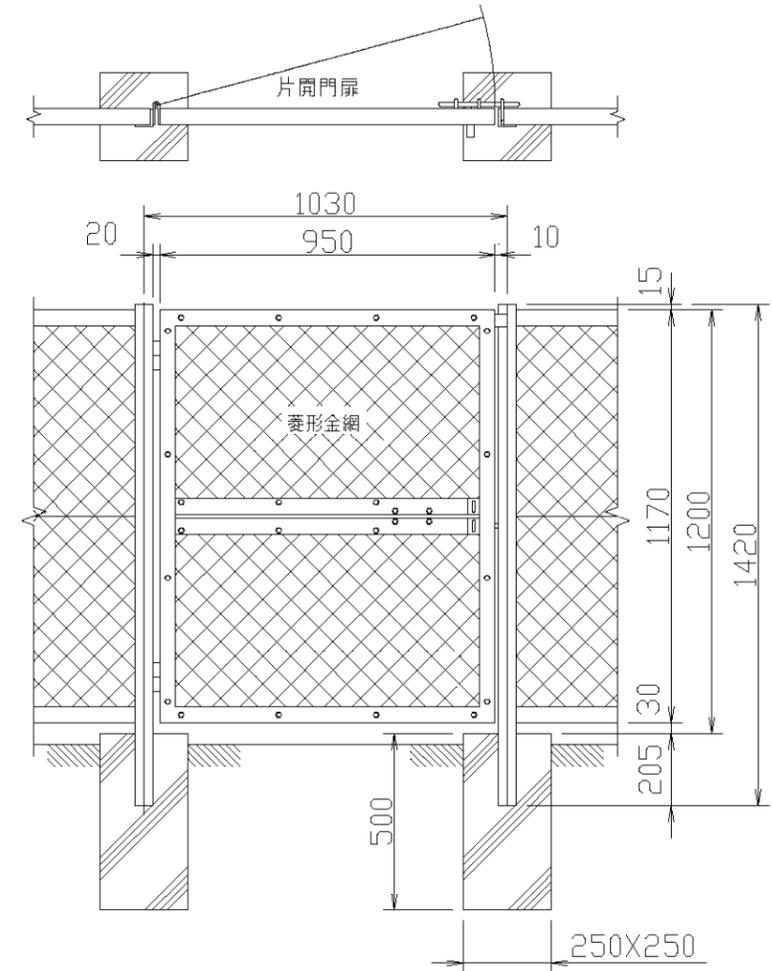
手摺詳細図  
S=1:20



備考

1. 支柱ピッチは、1200以内とする。

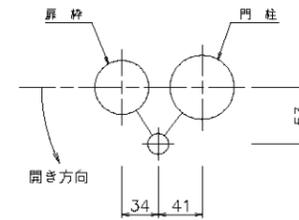
片開門扉詳細図  
S=1:10



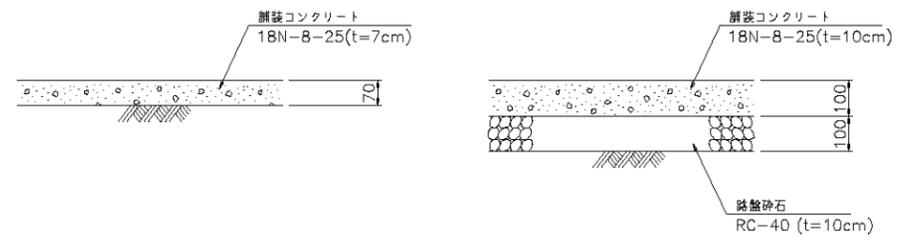
備考

1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2. 本図門扉は片側180°開きとする。

門柱・扉枠位置関係図  
S=なし



舗装工断面図  
S=1:10



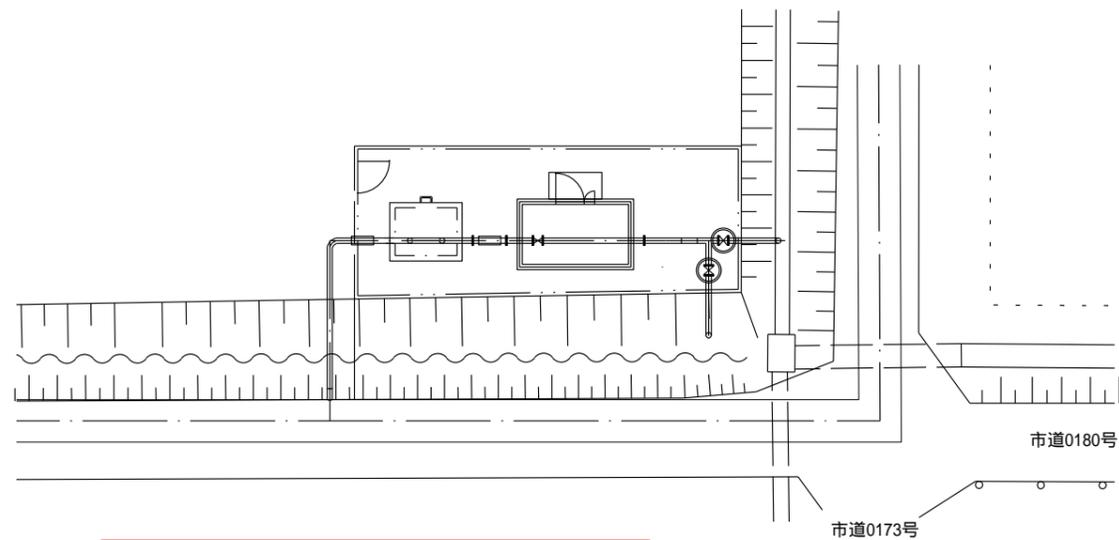
施設名	東部幹線用水路(0312100-1100-03)
図面名	大網東2分水工構造図(3/3)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示 図面番号 8-68/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

分水工番号		大網東2分水工		路線名	東部幹線用水路		緯度	35° 29' 58.07	
				関連事業名			経度	140° 22' 02.11	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	140 50 190	国営 計画流量 (m <sup>3</sup> /S)	計	0.15m <sup>3</sup> /S	0.15m <sup>3</sup> /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	3.80 3.117
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

分水工は大網白里市道0180号線と0173号線との交差点に隣接しサイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。長岡地区幹線水路への分水工機能を有している。

平面図



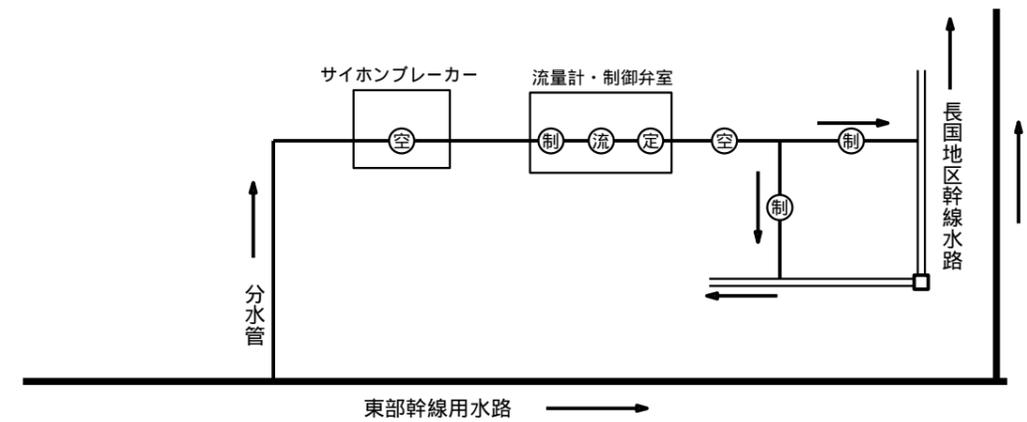
流量計・制御弁室  
大網東2分水工の制水弁(主弁)はここから操作。  
流量表示盤は流量計・制御弁室扉脇に設置されている。



分水工番号		大網東2分水工		路線名	東部幹線用水路		緯度	35° 29' 58.07	
				関連事業名			経度	140° 22' 02.11	

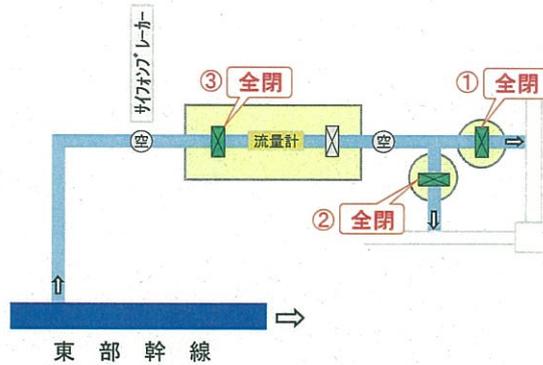
説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙
制 水 弁	⊚
電 磁 流 量 計	⊙
定 流 量 弁	⊚

通常時 送水停止



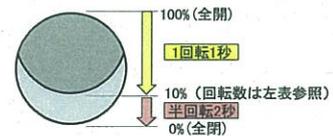
《注意》

- ・下流の分土工から順番に閉鎖（①→②）し、最後に③を閉鎖。全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

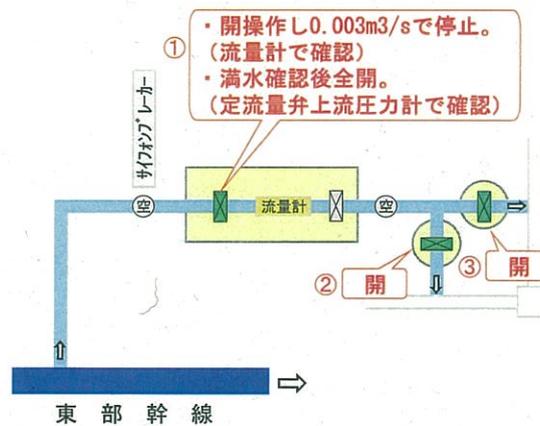
操作手順と要領

上図の番号	総回転数	閉操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	19	17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
②	19	17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
③	19	17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始



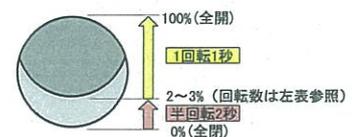
《注意》

- ・開始は2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、**満流を確認**して下さい。
- ・「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

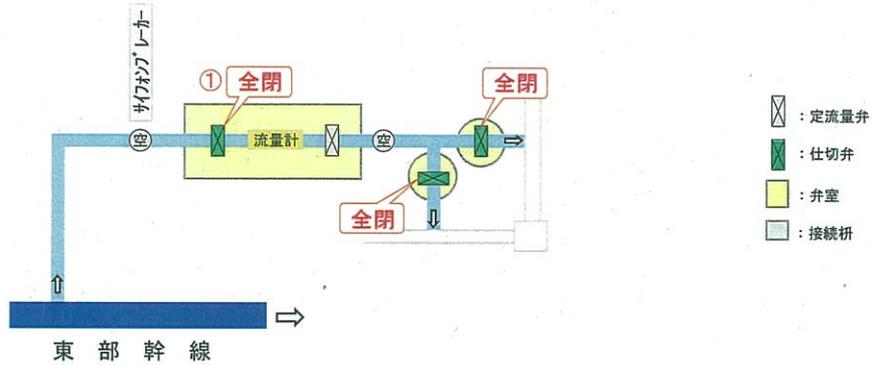
バルブ開放要領



### 3号機場停止時の操作方式

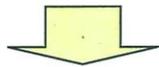
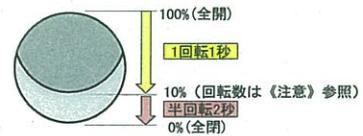
機場停止・幹線圧力低下  
 ↓ (幹線圧力安定後)  
**緊急停止** の手順  
 ↓ (幹線充水完了後)  
**緊急停止後の復旧** の手順

### 緊急停止

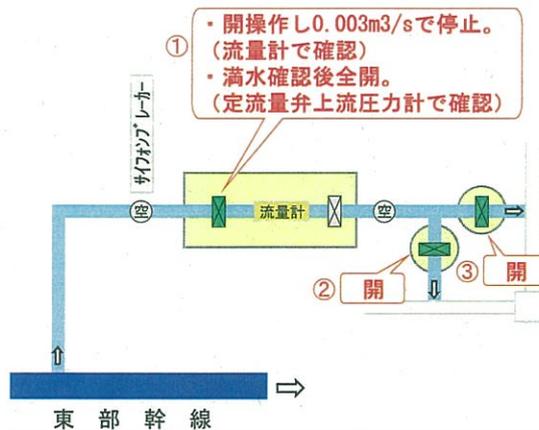


《注意》  
 ・ 先ず①を閉鎖。支線管内水が安定した後、分水口仕切弁を全閉する。①以外は順不同で閉鎖して良い。  
 ・ ①は「17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒」で全閉する。他は1回転1秒を目安として閉鎖する。  
 ・ 定流量弁 ☒ は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領



### 緊急停止後の復旧 ※幹線の充水作業が完了後に実施。



《注意》  
 ・ 開始は2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。  
 ・ 「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。  
 ・ 大網東1分水口の定流量弁 ☒ は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領

